

令和5年度 稲生小学校 学校経営の改革方針

1 学校教育目標

「人間性豊かで、たくましい実践力をもった子どもの育成」

2 めざす学校像

「あいさつが響き合い 笑顔いっぱい 思いやりにあふれる学校」

- ・確かな学力・健やかな体を育む学校
- ・一人ひとりを大切にする学校
- ・家庭や地域に信頼され、ともに創り上げる学校
- ・子どもの成長を喜び、教職員自らも成長し続ける学校

3 めざす子ども像

- ①規律を大切にし、正しい行動をする子(規律)
- ②学びを大切にし、仲間とともに高まろうとする子(勤勉)
- ③感動を大切にし、思いやりの心を素直に出せる子(正直)
- ④生命を大切にし、健康に生きる子(健康)
- ⑤夢や目標を持ち、あきらめずにがんばれる子

いのう こせんげん
稲生つ子宣言

一 えがお じぶん
笑顔で 自分からあいさつをします

二 なかよ あそ げんき
仲良く遊んで いつも元気です

三 なかま まな
仲間とともに しっかり学びます

四 かん かんが ただ こうどう
感じて 考えて 正しい行動をします

五 いのう あい
稲生を愛し みんなにやさしくします

六 ゆめ も
夢を持ち あきらめずにがんばります

きりつ きんべん しょうじき
規律 勤勉 正直

さち いのう こ
幸あれ 稲生つ子

〔平成二十六年一月 稲生小学校学校運営協議会策定〕

4 めざす教職員

- ・教育に対する使命感と誇りをもち、子どもたちとともに学び続ける教職員
- ・子どもたち一人ひとりの思いに寄り添い、深い愛情を注ぎ続ける教職員
- ・「チーム稲生小」として、主体的・組織的に行動する教職員

5 経営方針及び達成方策

◎特別支援教育の視点を生かした学校運営

(1)子どもたちの「生きる力」を育む教育課程・授業の創造

- ・系統的・横断的なカリキュラム・マネジメントの推進
- ・学調・みえスタ・体力テストの結果分析による授業改善
- ・わかる喜び, 学ぶ楽しさを実感できる授業づくり

(特別支援教育の視点に立った学級経営, 子どもたちが主体となった対話的な学習の実現, 子どもたちの対話的・協働的な学びを生む ICT 機器の効果的な活用, 読書活動の推進, 少人数指導・習熟度別学習, 授業力 UP5の活用)

(2)子ども理解に基づく人権教育の推進, 不登校対策の充実

- ・特別支援コーディネーターを核とした組織的な特別支援教育推進体制の構築
- ・一人ひとりの思いに気づき, 受け止め, とともに考える仲間づくり
- ・不登校の未然防止, 早期対応, 再登校につながる支援
- ・家庭との積極的な情報・意見交換による信頼関係の構築, 連携
- ・「いじめ防止基本方針」に沿ったいじめ防止対策の徹底
- ・防災・防犯・交通安全教育の推進と教職員・児童の危機管理能力の向上

(3)家庭や地域とともにある学校づくり

- ・学校運営協議会, 夢ある稻生まちづくり協議会との協働的な教育活動の推進
- ・ゲストティーチャーや学校支援ボランティア等, 地域の方々の力を借りることによる学校教育の充実
- ・学校ホームページ, メール配信による学校情報の積極的発信

(4)「チーム稲生小」として主体的・組織的に行動する教職員・職場づくり

- ・自らの役割を自覚し, 誰もが組織的・協働的に活動できる体制づくり
- ・やりがいや満足感を生む OJT・職場づくり
- ・業務の精選・効率化による時間外労働の削減

【総勤務時間の縮減に向けた取組】

- ・月 45 時間, 年 360 時間を超える時間外労働者の年間の延べ人数:0 人
- ・1人当たりの月平均時間外労働時間:30 時間以下
- ・休暇取得:各自が前年度日数を上回ることを目標に。
- ・設定日に定時退校できる職員の割合:90%以上
- ・60 分以内に終了する会議の割合(職員会議, 校内研修会を除く):100%